



【テルアビブ市でのシティズサミットの様子】

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 28 年 10 月 13 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-3826  
ki-somu@city.yokohama.jp

## イスラエル・テルアビブ市を訪問

9月23日～30日に、横浜で活躍している企業・経済機関、大学関係者及び横浜市の職員が、イスラエル・テルアビブ市等を訪問しました

横浜市は平成24年にテルアビブと交流協力共同声明を行って以来、連携を深めています。こうした結びつきが土台となり、駐日イスラエル大使館から横浜市に、同国政府による招聘事業「ヤング・リーダーシップ・プログラム」への参加をご提案いただいたもので、自治体が同プログラムにより代表団を派遣するのは、横浜市が初となります。

代表団は、テルアビブ市等で起業・イノベーションの状況を学ぶとともに、関係者と活発な意見交換を行いました。また、都市課題へのソリューションやイノベーション等をテーマに開催されたシティズサミットでは、国際局長がパネリストとして参加し、本市の健康増進施策について発信しました。今回の派遣を起点として、横浜とイスラエル・テルアビブ市とのビジネスや学術連携を一層加速していきます。



## 「シティネット防災クラスターセミナー」が台北市で開催

9月22日～24日に「第9回シティネット防災クラスターセミナー」が、台北市で開催され、横浜市から医療局、総務局、国際局の職員が参加しました。

このセミナーは、シティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）の防災文科会の会員都市が年1回、一同に会して、開催されるものです。セミナーでは、本市の災害医療体制や危機管理政策について発信するとともに、アジア諸都市の共通課題となっている地震、台風、洪水などの自然災害への対応や防災に関する知見の共有、今後の活動計画について活発な議論が交わされました。



（防災クラスターシンポジウムの様子）



（視察の様子）

※防災クラスター会議とは、シティネット加盟都市及び団体間で防災に関する知見や技術を共有することを目的として開催しています。横浜市はシティネット防災部会の議長都市です。



## ソウル特別市からの派遣職員 イム・ハンスクさんをお迎え しました

横浜市は平成24年からソウル市と職員の相互派遣を実施しており、両都市間の友好関係の強化と国際理解の促進を図っています。

本日、国際局に韓国ソウル特別市からの派遣職員、イム・ハンスクさんを新たにお迎えしました。ビッグデータなどデータ活用の事例をはじめ、幅広く本市の政策について関心を持たれており、横浜とソウルの懸け橋としてご活躍されることを期待しています。



（イム・ハンスクさん（左））